

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 三輪龍介 ◆編集責任者/担当 副会長 高塚康治 ◆制作・編集 第43期総務・広報委員会/委員長 木嶋康之

6月例会開催 『響』から『使命感』へ

心に響く一年

平成30年6月15日(金)ふれあいの里大会議室に於いて第43期の活動を締めくくる6月例会が開催された。担当は、卒会予定者と新入会員。



三輪会長は冒頭のあいさつで「第43期はスローガン『響～真摯な行動～』を掲げた。会員一人一人が周りに影響を与えられる(響く)人間になってほしい。また、響くためにも真摯な行動を積み重ねてほしいという想いだった。1年を振り返ってみれば、委員長を中心とする会員が第43期の活動に真摯に取り組んでいる姿は、いつも心に響いていた。会員のみなさまのお陰を持って第43期の活動を終えることができ、感謝している。そして、会員一人一人に響くような活動報告を委員長に発表してもらうことで第44期秋里会長へバトンを渡し、しっかりと次年度方針発表に繋げて行きたい」と述べられた。

心に響く委員会報告

続いて「第43期委員会報告」に移り、人財・組織活性委員会の永井委員長(活動テーマ:人と組織には世界と未来を変える力がある)、政治行政委員会の橋本委員長(活動テーマ:堅守速攻経営を学ぶ～リスク管理で経営を変える～)、地域交流委員会の堀尾委員長(活動テーマ:強震美響)、総務・広報委員会の木嶋委員長(活動テーマ:MOTTO)、生産性向上委員会の西田委

員長(活動テーマ:共成)の順に各副委員長や委員会メンバーから熱いエールで送り出され、1年間の活動成果の報告、苦労や思い出話など、涙あり、笑いありと各委員長の個性詰まった実りある発表が行われ、会員の心に強く響く委員会報告であった。

次年度方針発表

続いて、第44期秋里会長より次年度方針発表があり、スローガン『使命感』、テーマ『～貪欲に学ぶ～』が発表された。「中央会が行ってきた活動や発信の歴史を考えると、その原動力になるのは会員の為に想う、その地域の為に想う、若手経済人が持つ『使命感』でないだろうか。そして、この第44期は全会員



が人任せではなく、『次は俺たちがやらないうけん!!』『なんとかせないうけん!!』という『使命感』をもって会員のため、地域社会のために活動していきたい。また、第44期は45周年に向けて準備活動が始まり、これからの中央会活動を考える絶好の機会であり、50周年につなげていきたい」と非常に力強い方針発表が行われた。

続いて、第44期の活動において先導となる委員会が発表され、「総務・45周年記念事業委員会・足立駿委員長」、「広報委員会・恵比木委員長」、「ビジネス経営委員会・中村委員長」、「政治行政委員会・水野委員長」、「地域ビジョン委員会・山内委員長」の5委員会の年間活動方針について説明をされた。続いて、第44期の役員一同が壇上にて紹介された。

一年間の締め括りとなる6月例会は、会場内に熱い想いが響き次なる使命感が沸く中、閉会した。

(記事:金山)



6月例会を終えて



当例会では、第43期三輪会長により掲げられたスローガン「響」、テーマ「経営力を磨く」の旗印のもと、各委員長が1年間築き上げた委員会活動を全会員へと伝えていただきました。委員長の発表を通じて感じたことは、様々な考えをひとつにまとめて牽引していく難しき、事業を成し遂げる素晴らしさ、副委員長との強い絆でした。第43期三輪会長のもと、全会員が持つ知恵やスキル、委員長の持つ強い想いが響き合い、第43期の当会の大きな推進力になっていたのだと確信しました。

第44期スローガン「使命感」、テーマ「貪欲に学ぶ」。緊張感漂うなか、第44期秋里会長による方針説明と次年度を担う役員を紹介していただきました。個性豊かな力が、第43期の推進力を更なる力へと磨き上げていく、素晴らしい期がスタートするのだと感じました。

卒会予定者と新入会員がひとつになって作り上げた当例会。新入会員として先輩方の知識や経験を目の当たりにし、体感として得たものは大きく、今後の中央会活動を邁進していくうえで大きな一助になりました。

第43期、皆さま本当にお疲れさまでございました。今後も当会が更なる発展を遂げることを願わずにはられない例会でした。

6月例会新入会員リーダー 岡田英憲 (株ライトスタッフ 取締役)

第38回 全日本トライアスロン皆生大会 選手紹介

内田 和也 (有内田重機 代表取締役)

今年もまた、全国高校野球選手権鳥取県大会が近づいてまいりました。昨年私の息子は、地区大会決勝戦で敗れてしまいました。最後の夏に向け一生懸命練習し、夢の甲子園めざして、ゲームセットになるまで諦めず、ひたむきにプレーする姿にとても感動しました。

私自身トライアスロンのボランティアでは、いつも看板の撤去をしながら、最終ランナーの最後まで諦めず走る姿を見て感動を与えられていました。今度は自分も誰かに感動を与えたいと思い、スイム担当として出場を決意しました。昨年は補欠でしたが今年はスタメンです。

トライアスロンは、諦めた時がゲームセットだと思います。最後まで諦めず、時間内にタスキをバイク担当の石田さんに渡し、ラン担当の谷口OBと3人力を合わせてゴールを目指したいと思います。

今年は、ウエットスーツを借りている秋里会長のためにも、選手とボランティアの二刀流でがんばります。



石田 倫章 (ウィルビー㈱ 課長)

バイク担当の石田です。

3年前前は、健康的な中央会生活の甲斐あって、体重が105kgを超えておりましたが、色々あって30kg程度のダイエットに成功しました。折角痩せたのだから何かしようかと考えたところ、谷口弘毅OB、稲田清OBのお誘いもあり、昨年の春より趣味として自転車を始めました。

それは気楽なサイクリングのつもりだったのですが、突如現れたG藤公平OBが『じゃあ(来年のトライアスロン)出るよね』とか仰るものですからさあ大変。

夏は大山を登り、冬は室内で3本ローラーを回し、ファンタジーな価格の自転車用品費を捻出し、今を迎えます。

この度、リレー参加ということで、内田和也会員、安藤睦男会員、谷口弘毅OBに声を掛けさせていただき、2年ぶりのチームT.S.Cを結成しました。

現役会員中心のチームを何とか復活させようと思い、賛同して頂いた内田会員、安藤会員。そして4人目としてフォローに入って頂いた谷口OB。中央会としてのチーム参加をご理解頂いた高塚トライアスロン実行委員長など、関係の皆様には感謝してもしきれません。

参加するからには結果を出せればと思っています。チームへの応援、よろしくをお願いします。



安藤 睦男 (山陰フェンス工業㈱ 営業)

皆様お疲れ様です。安藤と申します。この度はトライアスロンチームに初めて参加させていただきます。

昨年はASでお手伝いさせて頂きましたが、今年はチーム側として参加させていただきます。チームT.S.C西部組の補欠として、石田会員、内田会員、谷口OBの熱烈サポーターをさせて頂きます。残念ながら当日は走ることができませんが、皆様がベストの状態当日に臨めるようしっかりサポートさせていただきます。応援の程よろしくお願い致します。



Motto 教えて 小坂 泰彦 (有はなや 取締役)

高校卒業後、約10年間県外に出ていた私ですが、米子に戻って早6年が経とうとしています。大学も工学部でしたので、そんな自分が花屋をやることになるとは当時思いもよらなかったわけですが、ある日突然「経済」というものに興味を持ってしまい、会社経営という人生も面白いだろうなと思ひ、家業を継ぐべく帰って参りました。

なぜ経済に興味を持ったのか?おそらく「株」に興味を持ったからだと思います。…そしてあわよくば働かずにお金が欲しいと(笑)

「株なんか危ないからやめなさい」とおっしゃる方も多いと思います。否定はしません、ある意味で本当です。ですが、単純に日経平均や株

価チャートや四季報に載っている会社情報を見ること自体が私にとっては面白かった!世の中には自分の知らない色々な会社がある。凄い事しているのを見向きもされない会社もあれば、中身は大したことがないのにバブルが起きている会社もある。政治や世界情勢まで絡んで、人間の群集心理と欲望が凝縮されていてなんて面白いんだと。自分の世界が広がった気がしました。

11月の県事業で、講師の社長様が「どんなに世間が悪い時でも必ず伸びている業界がある」といった趣旨の話をされていました。攻め時か退き時かトレンドを見誤らないこと、そしてダメと判断したら即撤退・縮小すること。会社経営にしても投資にしても、それがとても大事なことであり、そして一番難しいことだと思います。皆様のお力も借りながら、あと50年会社が生き残っていけるよう頑張っていきたいと思っています。

平成30年度通常総会懇親会に向けて

第44期総務・45周年記念事業委員会 委員長 足立 駿 (足立ふとん店米子店 店長)



いよいよ第44期最初の事業である「平成30年度通常総会懇親会」が近づいてきました。第44期総務委員会として初めての事業でもとても緊張しております。ですがそれと同時に、このように大きな事業の運営を任されている事に喜びを感じております。

当日は来賓、OB会員の皆様をお招きして盛大に開催いたします。諸先輩方より中央会魂を受け継いだ森下団長率いる中央会応援団が、新入会員と共にトライアスロン社行会を行います。限られた短い準備期間の中、応援団員は必死に練習していますのでご期待ください。

この事業は第44期秋里丸が勢いを持って出航できるよう、そして1年間力強く活動できるよう弾みをつける大事な事業だと考えています。第44期総務委員会メンバーが中心となってサポートし必ず大成功に納めたいと思いますので、皆様ご協力よろしくお願い致します。

今年もお地蔵さまをキレイにしました《お地蔵さま清掃再び》

平成30年6月7日(木) 16:00より大山寺参道に於いて、5月13日に開催された「第3回大山お地蔵さまフェスティバル」のメインイベントである『お地蔵さま清掃』を行いました。フェス当日は生憎の悪天候であった為、清掃活動を含む各種イベントが完遂出来ず、心残りの多い開催となりました。そこで地域交流委員会を中心とした声掛けにより、快晴に恵まれた7日は会員31名一般参加3名の有志が集い、改めて大山寺参道に並び15体のお地蔵さまの御体を洗い清め、赤い前掛けを交換させて頂きました。清掃後に堀尾委員長は「胸につかえていたものがとれた」と感想を述べ、今まで肩に掛けていた幾つもの荷をようやく一つ降ろす事が出来た様子が印象的でした。(記事:長谷川T)



お地蔵さま絵画作品表彰式

鳥取県西部の保育園・幼稚園から約750点もの応募があった、お地蔵さま絵画作品の表彰式(平成30年6月17日 イオン米子駅前店3階イベントスペース)が行われた。大山参道の清掃と並び、お地蔵さまプロジェクトのメインイベントの一つであり、応募作品の中から鳥取県西部総合事務所長賞など合わせて8つの賞が授与され、お地蔵さまマスコットの愛称「にこっとさま」を提案された北野様にも賞が授与された。北野様によれば、「にこにこしているお地蔵さまを見れば、楽しいときも悲しいときも子供たちが『にこっと』できそう」との思いから、この愛称を思いついたとのこと。

訪れた大勢の子供たちやご家族の笑顔で会場が溢れるなか、第3回お地蔵さまプロジェクトは幕を下ろした。

(記事:高田)



生産性向上委員会 委員長 西田 裕志

山陰酸素工業(株) 技術本部 技術部 供給技術グループ メディカルチーム 課長

今期、生産性向上委員会の委員長として役目を務めることが出来るか不安だらけでスタートしましたが、数々の事業を経験し多くの事を学びこれまで来られたのは山口副会長、松田参与、武田副委員長をはじめ委員会メンバーの皆さまが寄り添って頂けたからこそです。感謝の言葉しかありません。

沢山悩み沢山笑ったこの1年は人生にとって一瞬ではありますが、一生の宝となる経験をさせて頂きました。これからはこの感謝の気持ちを忘れず中央会に恩返しができるよう邁進して参ります。この1年本当にありがとうございました。



第43期委員長を務めて

地域交流委員会 委員長 堀尾 一仁

(株)堀尾建築設計事務所 専務取締役

1年間をとおして、委員会メンバーの力強い助けがあったからこそ、事業を最後までやり遂げる事が出来ました。委員会テーマを「強震美響」としましたが、メンバーそれぞれの得意分野で強く震えていただき、最後には皆で美しく響き合えたと思っております。「委員長が言うなら！」とついて来てくれた委員会メンバー、一つになって協力いただいた会員皆様、そして、このような機会を与えていただきました三輪会長に感謝をいたします。

1年間ありがとうございました！！



人財・組織活性化委員会 委員長 永井 拓末

(株)クラム 営業部長

1年間本当にありがとうございました。感謝の言葉しかありません。

委員会のメンバー、役員の方々、会員の皆様のご協力あって委員会や例会で自分のやりたいことを1年間表現させていただきました。楽しいことだけではなく、悩んだり、苦しんだりしたこともありましたが、その分成長できたのではないかと思います。また時間の使い方や、物事の進め方などを体で覚えることができ、私の人生にとってかけがえのない1年になりました。



政治行政委員会 委員長 橋本 真和

美保テクノス(株) 基礎技術事業所長

43期政治行政委員会は、中小企業が抱える労働問題全般を学び、鳥取県の大きな課題である若者の県外流出を防ぐ為に、我々、若手経済人が何をすべきか検討し、最後は鳥取県の仕事の魅力を伝える『中央会のハローマップ』の作成を行いました。期ぎりぎりまで悩みましたが、やっと最後になって自分のしたいこと、そして自分の想いを伝えることが出来たと思います。委員会メンバーの皆様、本当に最後まで私を支えてくれてありがとうございました。



総務・広報委員会 委員長 木嶋 康之

D・I・P(株)

総務と広報の二つのことをするという不安でいっぱいスタートでしたが、委員会メンバーをはじめ、役員の方々、会員の皆様のご協力をいただき1年間務めることができました。感謝の言葉しかありません。

特に委員会メンバーには、たくさんのわがまを言いました。いつも「きじま感」と言いごまかしましたが、これからは皆さんに受けた恩をお返しするようにしたいと思います。そして、委員長という機会を与えてくださった三輪会長に感謝しています。

1年間ありがとうございました。



研修旅行レポート

地域交流委員会 副委員長 仲佐 大志

我々地域交流委員会は6月2・3日で研修旅行として京都の方へ行って参りました。京都では、かの有名な清水寺で50年に1度ともいわれる大規模な改修、修繕工事が行われていました。景観を損なわない為か足場が木で組んであり、昔ながらの技術の凄さと壮さに一同息を呑む様でした。2日目は古くから都の貴族や権力者達に親しまれてきた嵐山へ赴き、船頭さんのお話を聞きながら楽しく歴史を学ぶ事が出来ました。今期卒会される田中猛会員を始め、堀尾委員長そして委員会メンバーが美しく響き合い、心に残る研修旅行となりました。



生産性向上委員会 副委員長 武田 希

5月26日(土)から1泊2日の日程で、研修旅行に出かけました。神戸方面の旅行でしたので、お決まりの阪神・巨人戦、但馬牛、そして三宮の某有名店へと足を運びました。驚きと発見、そして笑いに溢れた時間を、1年間共に活動してきた委員会メンバーと共有する事ができました。翌日はホテル最上階のスカイビュッフェにて、ご卒会予定の田中真紀子会員を囲み、優雅なランチを堪能しました。最高の仲間と笑いあり涙ありの最高の旅行になりました。



総務・広報委員会 副委員長 渡邊公平

研修旅行担当の生田会員の発案により6月2日・3日に徳島県に行ってきました。初日は吉野川でゴムボートに乗り川下りするラフティングをしました。何度も激流に遭遇しましたが1年間培ってきた委員会メンバーのチームワークを発揮し、激流を乗り越え改めて総務・広報委員会の絆を確認する事が出来ました。2日目は「阿波踊り会館」で阿波踊りの歴史を学び、踊りを体験し徳島の文化を肌で感じる事が出来ました。帰りのバスでは徳島の観光資源の活用方法を見て鳥取県西部の観光資源をもっと活かす為の議論がなされ、学びの多い研修旅行になりました。



〈新入会員〉

(総務・広報委員会)



はま 濱 真 一
 株式会社 山陰 店長
 自動車販売・自動車整備・損害保険
 〒683-0854 米子市彦名町7168-1
 TEL 25-1761 FAX 25-6010

H30.06 (H29年) 入会
 (推薦者) 山口(尚)
 木嶋(康)

〈コメント〉6月より入会させて頂きました山陰の濱真一と申します。中央会の活動を通して、人と人のつながりを大切にし、地域貢献をしていけるように頑張ります。ご迷惑をかけることもありますがよろしくお願ひします。

6月9・10日、福山方面へ行って参りました。旅行担当の新井会員、福本会員、森下会員による入念な準備と、趣向を凝らしたイベントの数々によって、みんな楽しく過ごさせていただきました。



人財・組織活性委員会は様々な行事で高出席率ですが、今回の旅行もたくさんの会員にご参加いただきました。『人と組織には世界と未来を変えるちからがある』を委員会テーマに掲げ、「家族のような信頼関係を委員会メンバーでつくりたい」との永井委員長の思いが、最後までぎゅっと詰まった1年間でした。

政治行政委員会 副委員長 水野孝一

当委員会は5月26日・27日と1泊2日で石川県金沢市へ研修旅行に行きました。研修として新幹線が停車するようになった金沢市の人口増加について調査に行きました。金沢では武家屋敷跡野村家・兼六園・金沢城・近江町市場・金沢駅の5か所をまわりました。



金沢までは車で7時間かけて移動しました。今期、卒会される2名の会員と中央会として最後の研修旅行に行き良い思い出となりました。

所属企業名称変更のお知らせ

松田 幸紀会員
 (旧)株式会社 かばはうす
 (新)かばはうすホールディングス 株式会社

7月役員会報告

平成30年7月2日(月)ANAクラウンプラザホテル米子にて開催されました。
 当日の主な内容は以下のとおりです。
 ・6月例会報告の件 ・総会・卒会式、懇親会開催の件
 ・8月例会開催の件 ・その他
 詳細については各委員長にご確認ください。

平成30年度総会・卒会式及び懇親会案内

と き：平成30年7月12日(木) 17:45~21:30
 と ころ：スマイルホテル米子(高砂、芙蓉の間)
 内 容：総会・卒会式
 懇親会
 担 当：総会・卒会式 第43期総務・広報委員会
 懇親会 第44期総務・45周年記念事業委員会

編集後記

今回のハンサム352号をもって今期の総務・広報委員会の活動も最後となります。会員同士が響きあう会にするため会員のことを深く知る機会になればと思い今期の広報誌を作りあげましたが、皆さんの心に残る記事はあったでしょうか。最後になりますが、毎月滞りなく発行できたのも快く協力してくださったOB会員の皆様、現役会員のおかげであり感謝申し上げます。ありがとうございました。
 (総務・広報委員会 委員長 木嶋康之)